

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

# 「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容



2023年7月29日[土]—9月24日[日]

前期：7月29日[土]—8月27日[日] 後期：8月29日[火]—9月24日[日]

※大幅な展示替えがあります

休館日 月曜日[ただし8月14日、9月18日は開館]、9月19日[火]

開館時間 午前9時30分～午後6時 ※観覧券の販売は午後5時30分まで

観覧料 一般1,000[800]円、大学・高校生800[600]円、中学生以下無料

※[ ]内は20名以上の団体料金・リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)・

あっちも割引料金(新潟市新津美術館企画展観覧券提示で団体料金に割引。1枚につき1回限り1年間有効)

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示下さい)

※会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます。

主催：新潟市美術館 特別協力：武蔵野美術大学 美術館・図書館 企画協力：株式会社アートインプレッション

新潟市美術館

Niigata City Art Museum



大辻清司《瀧口修造夫妻、書齋にて》1975年(2003年プリント) 富山県美術館蔵



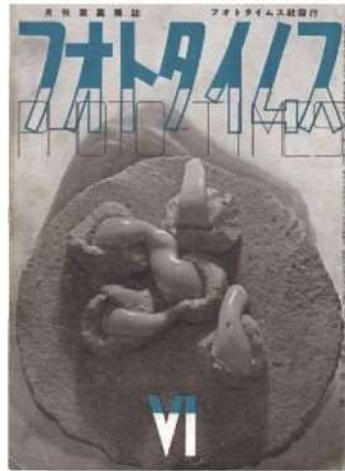
牛腸茂雄《見慣れた街の中で19》1978-80年(2004年プリント) 新潟市美術館蔵



大辻清司《航空機》1957年(1980年代プリント) 渋谷区立松濤美術館蔵

# 「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容

美術評論家の瀧口修造、絵画と写真の分野で活躍した阿部展也、そして写真家の大辻清司、牛腸茂雄。4人の交流と創作をたどりながら、1930年代の前衛写真から80年代にわたる日本昭和写真史の一断片をご紹介します。30年代、「前衛写真」の名のもとに、シュルレアリスムの影響を受けた技巧的な写真が多く発表されますが、写真におけるシュルレアリスムとは、「日常現実のふかい襷に潜んでいる美を見出すこと」とであると瀧口は考えました。瀧口とともに「前衛写真協会」を立ち上げた阿部は、その言説に呼応するように、街なかや旅先の風景にカメラを向け、「フォトタイムス」誌上で発表します。まさに前衛写真協会が議論を交わしていた30年代後半の『フォトタイムス』を手にした大辻は、瀧口と阿部に大きな影響を受けながら、70年代には「なんでもない写真」に代表される写真シリーズ「大辻清司実験室」へとたどり着きます。大辻のもとで写真を学んだ牛腸は、何気ない日常を取り上げた自身の写真を「見過ごされてしまうかもしれないぎりぎりのところの写真」と表し、独自の視点で周囲のひとびとを捉えました。戦前から戦後にかけて、時代ごとにかたちを変えて試みられる「前衛」の精神をご覧ください。



『フォトタイムス』15巻6号【写真：阿部秀文(展也)】1938年

※掲載作品の展示期間については、当館のwebサイトをご確認ください

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

- 関連事業**
- 1 [講演会] 大辻アーカイブでたどる瀧口修造、阿部展也、牛腸茂雄  
日時：9月16日(土) 午後2時～3時30分  
講師：大日方欣一氏(写真/映像研究、九州産業大学芸術学部教授)
  - 2 [美術講座] 阿部展也の写真作品における変化について  
日時：8月27日(日) 午後2時～3時30分  
講師：上池仁子(新潟市新津美術館学芸員)
  - 3 [美術講座] 「ぎりぎりのところの写真」を考える 牛腸茂雄が捉えたもの  
日時：9月9日(土) 午後2時～3時30分  
講師：見矢野あゆみ(新潟市美術館学芸員)  
※1～3いずれも、会場：講堂/申し込み不要、聴講無料、定員80名(先着順)
  - 4 担当学芸員によるギャラリートーク  
日時：8月6日(日)、9月3日(日) 各日午後2時～(30分程度)  
※申し込み不要、要当日観覧券

- 同時開催**
- ・ コレクション展2「彫刻をみるための」 ～10月22日(日)  
学芸員のギャラリートーク 8月26日(土)、9月23日(土)  
各日午後2時～(30分程度)  
※申し込み不要、要当日観覧券
  - ・ Lounge N きまぐれプログラム「なんでもないものの集合」  
その場で誰でも気軽に参加できる造形プログラム。Lounge Nに置かれた「もの」を被写体にして写真を撮り、インスタグラムへ投稿してみよう!  
ハッシュタグ#なんでもないものの集合
- 新津140年 ユトリロ展 「白の時代」を中心に**  
7月1日(土)～8月27日(日)  
**プラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉**  
9月9日(土)～11月5日(日)  
Tel. 0250-25-1300

新潟市新津美術館の  
展覧会

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9  
Tel. 025-223-1622 Fax. 025-228-3051  
www.ncam.jp E-Mail museum@city.niigata.lg.jp

Facebook @ncam.tsunagaru  
Instagram @ncam\_official

新潟市美術館  
Niigata City Art Museum



## 交通のご案内

- バスで(新潟駅万代口バスターミナルから)
- ・ [C6八千代橋線] 乗車約16分→「西堀通八番町」バス停下車→徒歩5分  
(便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停からのアクセスとなります)
  - ・ [B1萬代橋ライン(BRT)など] 乗車約10分→「古町」バス停下車→徒歩12分  
(バス停から美術館まで約860m 最も便数が多いバス停からのアクセスとなります)
- タクシーで 新潟駅万代口から約10分
- 自動車で(無料駐車場最大46台)
- A: [高尾道線] 日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、郡部大橋経由で約20分
  - B: [国道8号線(新潟バイパス)] 兼竹山ICを降り、榑部大橋経由で約15分
- \*当館駐車場は混雑するおそれがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。  
\*「新潟市西堀地下駐車場」の駐車券のご提示で60分無料券をお渡ししています。